

平成28年度「地方創生」「人口の社会増」に向けた取り組みについて

1. 基本的な考え方

「地方創生」「人口の社会増」の更なる推進に向け、庁内推進体制の整備や5つの重点分野（子育て、教育、仕事、住まい、若者チャレンジ）において、新たな事業や既存事業を効果的・効率的に取り組むとともに、キャリア教育や学力向上を通じた「子どもチャレンジ」、志のある若者による「若者チャレンジ」、地域自主組織による「大人チャレンジ」のチャレンジの連鎖により課題解決先進地をめざし、プラチナ社会の実現に取り組めます。

2. 庁内推進体制の整備（平成28年4月1日～）

キャリア教育推進のための体制整備

幼児期から高校生までの切れ目のないキャリア教育を推進するため、教育委員会社会教育課にキャリア教育推進室を設置します。

3. 「地方創生」「人口の社会増」に向けた新規・拡充事業

（1）新規・拡充事業費（平成28年度予算ベース）※3月補正予算（繰越予定分）含む

分野	事業費 (A)+(B)		うちH28.3月補 正予算分(A)	うちH28当初予 算分(B)
		うち新規分		
子育て	244,813	17,890	0	244,813
教育	87,835	31,686	10,000	77,835
仕事	36,530	10,090	26,440	10,090
住まい	26,240	0	0	26,240
若者チャレンジ	77,457	0	55,827	21,630
共通項目	28,305	0	0	28,305
	501,180	59,666	92,267	408,913

※(A)については、全額繰越予定。

※子育て分野の事業費には、歳入の減額見込み分を含む

（2）分野ごとの主な事業

○子育て分野

子育てに伴う経済的負担の軽減を図るとともに、児童・幼児受入施設の確保など安心して子育てできる環境づくりに取り組みます。

①【継続】子ども医療費助成事業〔事業費 154,882 千円〕

0歳から中学校3年生までの医療費自己負担分を無料化します。

②【継続】第3子以降保育料無料化（保育所・認定こども園・幼稚園）事業

〔歳入〕▲49,224 千円

満18歳未満の子どもが3人以上いる世帯のうち、第3子以降の児童・幼児にかかる保育所・認定こども園・幼稚園保育料を無料にします。

③【新規】第1子・第2子に係る保育所保育料軽減事業〔歳入〕▲11,290 千円

島根県が平成28年度から創設する交付金制度を活用し、3歳未満児の第1子・第2子に係る保育所保育料を軽減します。

④【継続】認定こども園推進事業【事業費：3,629千円】

質の高い幼児期の教育・保育ニーズへの対応として、認定こども園化に向けた施設改修等を行います。

⑤【継続】子ども家庭支援センター運営事業【事業費：6,528千円】

教育・保健・福祉・医療の関係機関等との連携・協働によるコーディネート機能を発揮させ、乳幼児期からの子どもの発達や、虐待、不登校及び就労の支援を行う窓口として、子どもや家庭に関する支援の充実を図ります。

⑥【継続】子育て支援センター運営事業【事業費：6,948千円】

共働きの保護者が子育てに関する相談を行うほか、同年代の子どもをもつ保護者相互の交流を促進します。

⑦【継続】不妊治療費助成金事業【事業費：5,712千円】

不妊治療を受けている夫婦に対し、治療に要する費用の一部を助成します。

⑧【新規】放課後児童クラブ整備事業【事業費：6,600千円】

小学校区に放課後児童クラブがない場合、一定以上の需要に応じて、放課後児童クラブの整備を行います。また、開設中の放課後児童クラブの施設改善に取り組みます。

○教育分野

自立した大人になるため幼児期から高校生までの切れ目のないキャリア教育を推進し、知徳体のバランスの向上を図る中、小中高一貫教育による学力の向上対策に積極的に取り組みます。

①【新規】UNNAN 学びサポート事業【事業費：19,000千円】

教員の授業力向上及び児童生徒の習熟度向上を目的として、高い指導力を持つ教員等をスーパーティーチャーとして招聘し、授業指導や示範授業などを実施するとともに、小中高一貫教育の取り組みを進めるため、新たに教育監を2名配置します。さらに、学習機器（タブレット）を新たに整備し、放課後等に地域の方の参画を得てICTを活用した学習支援を行い、学習習慣を確立し学力の向上をめざします。

②【新規】教育魅力化推進事業【事業費：1,920千円】

就学前から高校期まで一貫した雲南市独自のキャリア教育「夢」発見プログラムや学力向上対策の更なる充実を図るため、学校、地域、市関係部局等で、「教育魅力化会議（仮称）」を組織して一体的なキャリア教育・学力向上に取り組みます。

③【継続】キャリア教育推進事業【事業費：45,204千円】

教育系NPO法人との協働により、質の高い教育を実施し、キャリア教育の推進を図るとともに、不登校児童生徒への学習や体験活動を保障します。

④【拡充】土曜日の教育支援事業【事業費：1,625千円】

子ども達が社会を生き抜く力を身に付けるよう、学生、社会人、地域の大人が連携・協働して、小学生から高校生までの発達段階に応じた体験学習プログラムや補習授業、地域課題の発見や解決への取り組みなど、多様な学習プログラムを提供します。

⑤【継続】学校「夢」プラン事業【事業費：3,000千円】

「夢」発見プログラムの推進に向けた各小中学校独自の取り組みを支援します。

- ⑥【継続】「夢」発見ウィーク事業【事業費：580千円】
勤労観や職業観を育むため、市内中学校の3年生全員を対象に、職場体験学習を実施します。
- ⑦【継続】郷土・伝統・文化推進事業【事業費：1,400千円】
市内の児童生徒にふるさとへの愛着や誇りを持ってもらうため、「夢」発見プログラムに基づいた事業を実施します。
- ⑧【継続】カタリバ授業体験事業【事業費：1,500千円】
多様な価値観の醸成と自己肯定感を育みながら、将来像を見つけることを目的に、市内中学校の2年生全員を対象にカタリバ授業を実施します。
- ⑨【継続】幸雲南塾 IN さんべ事業【事業費：2,840千円】
市内中学3年生の希望者を対象に、将来の夢や目標を持ってがんばることの大切さを学ぶキャリアワークショップを実施します。
- ⑩【新規】高校寮費・下宿助成事業【事業費：1,920千円】
市内高校の一定以上の寮・下宿費用に対して助成します。
- ⑪【新規】市民バス運行事業（新規増便分）【事業費：8,846千円】
市内全域から市内高校（3校）への通学環境が向上するよう、ニーズを踏まえた市民バスの運行見直しを行います。

○仕事分野

企業誘致や地域内での地場産業の振興等に加え、起業・事業承継の支援を行い、地域の活力を生み出す産業振興に取り組みます。

- ①【拡充】企業誘致推進事業【全体事業費 12,960千円】※地方創生3月補正予算計上
産業立地専門機関との連携のもと企業誘致専門員を配置し、企業誘致活動の充実を図り、藤が丘企業団地及び神原企業団地等への立地を推進することにより、新たな雇用創出に取り組みます。
- ②【拡充】起業創業・経営支援事業【全体事業費 7,580千円】※地方創生3月補正予算計上
後継者不足の解消につなげるため、市内企業と若手起業家とのマッチングを促進し、地域内での第二創業や事業承継が活発化する企業経営の支援体制強化を図ります。
- ③【拡充】雲南市産品販路拡大事業【全体事業費 5,900千円】※地方創生3月補正予算計上
地域資源を活用した新商品開発を促進し、大都市圏等への販路開拓を行うため、専門人材を配置して、雲南市産品の販路拡大に取り組みます。
- ④【新規】Uターン介護人材確保事業【全体事業費 9,120千円】
県外から雲南市に移住する意思があり、市内の介護サービス事業所に就労しようとする人材を確保するために、事業所で実施される体験研修等に要する費用を助成します。
- ⑤【新規】アグリキャンパス事業【全体事業費 970千円】
就農ニーズを踏まえた交流や学びの場の提供により、農ある暮らしを求める移住者や学生のインターンシップを対象とした短期農業体験の受入れを行います。

○住まい分野

子育て世帯のマイホーム建設の促進やU・Iターン者の拡大、定住促進に向けて、住まいの建設や確保などに関する支援の充実などに取り組みます。

①【継続】子育て世帯定住宅地貸付事業【事業費：10,240千円】

市内に住宅を建設し、定住しようとする子育て世帯に市有宅地を25年間貸与し、貸与期間満了後は無償譲渡します。

②【継続】子育て世帯定住宅地購入支援事業【事業費：5,000千円】

市内に定住しようとする子育て世帯が住宅建築を目的に、民間売買により宅地を購入する場合、購入費に対し補助を行います。補助上限額500千円（補助率1/10）

③【継続】定住促進住宅（木次東・加茂中団地）の入居者支援事業【事業費：0千円】

定住促進住宅（木次東・加茂中団地）に、市外から転入する子育て世帯について、子どもの人数に応じ家賃を減額します。

④【継続】子育て世帯に対する固定資産税課税免除制度【事業費：0千円】

子育て世帯が住宅を新築又は購入した場合、既存免除制度を2年間延長し5年～7年間課税を免除します。

⑤【拡充】空き家改修補助事業【事業費：10,000千円】

移住者の定住を目的として空き家バンク物件の改修を行う場合、その経費の一部を助成します。補助上限500千円、（拡充）子育て世帯1,000千円（補助率1/2）

⑥【継続】空き家片付け助成事業【事業費：1,000千円】

移住者の受入れに必要となる空き家バンク物件の確保のため、空き家の片付けに要する費用の一部を助成します。補助上限額50千円（補助率1/2）

○若者チャレンジ分野

地域課題解決に向け、課題解決人材の育成・確保をすすめるとともに、若者たちが課題解決にチャレンジしやすい環境づくりに取り組みます。

①【継続】若者チャレンジ推進事業【事業費：36,380千円】 ※地方創生3月補正予算計上

若者の取組みを支援する中山間支援組織と連携し、市内外の志ある若者の育ち合いを促進し、課題解決スキルをもつ若者の育成・確保と課題解決ビジネスの創出を図ります。

②【継続】ノウハウ移転推進事業【事業費：12,312千円】 ※地方創生3月補正予算計上

都市圏社会起業家等と連携し、地域課題解決に取り組む若者等に対し、ビジネス化や活動基盤強化に必要となる専門スキル・ノウハウの習得支援を行います。

③【継続】大学機関連携事業【事業費：1,840千円】

大学機関と連携し、地域住民や地元大学生と遊休施設等の活用方策のワークショップや交流事業を実施。地域づくりや人材育成を進めます。

④【拡充】コミュニティキャンパス推進事業【事業費：8,435千円】※地方創生3月補正予算計上

大学生が地域課題スキルを身に付けることを意図した、フィールドワークやインターンシップを実施する「雲南コミュニティキャンパス」を開校して、雲南市の課題解決の担い手となる人材の育成・確保に繋がります。

⑤【拡充】地域づくり応援人材配置事業【事業費：17,040千円】

地域課題解決のため、市外の若者等を地域雇用で配置し、定住につなげます。※3地域に1名ずつ、3年間を基本に継続配置する。H27⇒3名 H28⇒3名

⑥【継続】地域医療人材の誘致・育成事業【事業費：1,450千円】

医療系NPO法人等と連携して魅力的な医師の長期研修プログラムに取り組み、地域医療を志す若い医療人材の誘致・育成を図ります。また、総合医療専門医プログラムの策定に取り組みとともに、家庭医療後期研修プログラム指導医の確保を図ります。

○その他関連事項

①【継続】定住支援員配置事業【事業費：12,566千円】

移住定住のための情報発信や相談窓口として定住支援スタッフを配置するとともに、地域自主組織に定住協力員を配置いただき、地域と連携した定住促進を図ります。

②【拡充】結婚対策事業【事業費：3,000千円】

独身男女の結婚活動を支援するため、結婚相談サロンの充実や市民活動団体等が行う婚活イベントなどの活動に対して助成を行い、独身男女の出会いの場づくりや縁結びの活動を推進します。

③【継続】雲南市ふるさと定住推進協議会運営事業【事業費：3,300千円】

うんなん暮らし体験プログラムの実施やUIターン者交流会を開催するとともに、シェアオフィスを活用した都市圏からの移住・交流を拡大するための調査研究を実施します。

④【継続】持続可能型地域推進事業【事業費：2,996千円】

持続可能な地域としていくため、地域課題解決人材を育成・確保するための講座を開催します。また、地域自主組織の法人制度を確立するため、小規模多機能自治推進ネットワーク会議を活かした活動を行います。

⑤【継続】移住定住情報発信・相談事業【事業費：4,843千円】

定住支援サイトなどを活用した情報発信を行うとともに、都市圏での定住相談イベントに参加します。また、定住支援スタッフによる住居情報の提供や就業・就農支援などを行います。

⑥【継続】地方創生情報発信アドバイザー配置事業【事業費：1,080千円】

地方創生の積極的な情報発信を図るため、外部アドバイザーを配置します。

⑦【継続】地方創生総合戦略推進事業【事業費：520千円】

地方創生総合戦略の成果の見える化と市民参加の拡大を図るため、関係者や市民の学び合いの場として勉強会やシンポジウムを実施します。